

# 学 校 だ よ り

令和元年11月 6日発行  
小野市立旭丘中学校  
TEL 0794-63-2750



## 全国学力・学習状況調査結果について 校長 駒田 一敏

平素からの本校教育へのご理解とご協力、誠にありがとうございます。4月に9年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査について、検証結果のまとめができましたので、ご報告いたします。

全般に良好な状況です。これは今年度だけではなく、継続した積み重ねによるものです。そして本校の取組に加え、小中一貫教育推進の成果、家庭・地域の温かいサポートの賜物と感じています。

まだまだ課題はあります。また、社会は猛烈なスピードで変化しています。知識や技能だけでなく、それを活用する「思考力・判断力・表現力」、さらには「学びに向かう力・人間性」を育てていかねばなりません。本校生徒が将来と社会に目を向け、自らの「志」を抱いて人生を生き抜く力を身につけるために、これからも本校並びに本校校区の教育活動にご理解とご協力を、よろしく願いいたします。

### 【本校の調査結果について】



#### 1 教科に関する調査結果（概要）

- ◇ 今年度は、国語・数学・英語の3教科による全国一斉調査の実施となりました。本校では、国語・数学ともに基礎・基本の学力は定着しており、「十分に良好」な状況です。本年度から新しく追加された、英語においては、「読む・書く」の領域において正答率は高い状況です。
- ◇ 今年度においても基礎的・基本的な知識・技能を活用する力も、「活用できている」状況です。さらに、「無解答率」が低く、学習に対しては粘り強く取り組む姿勢が伺えます。

## 国 語 科



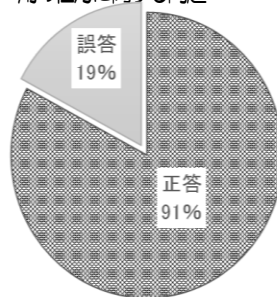
### ★優れている点

文を「話す」「聞く」「書く」に関する設問の正答率が高く、言語における「知識・理解・技能」の定着度をはかる設問や伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についても比較的よくできています。

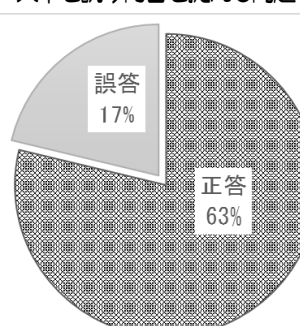
### ★課題となる点

文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることや話し合いの話題や方向性を捉えることが今後の課題です。さまざまな文章を読み、内容を捉える練習や読み手を意識した書く活動を繰り返し、読解力や表現力を育てることが今後の課題です。

文章の中での語句の適切な活用の仕方に関する問題



文章を読み内容を捉える問題



## 数 学 科



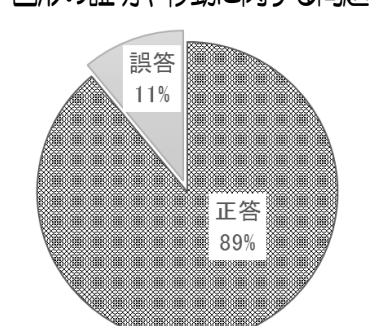
### ★優れている点

数と式、図形、関数、正・負の計算や文字式、方程式の計算はよくできています。少人数授業やおの検定への取り組み成果が表れています。特に、図形の平行移動や証明問題に関してよく理解できていました。

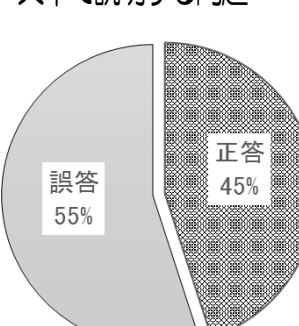
### ★課題となる点

事象を数学的に解釈し説明する項目が課題です。時間・距離・速さの関係を資料から読み取り説明するなど数学的表現を用いて自ら論理的に表現することです。様々な演習を通して表現力を高めていくことが今後の課題です。

図形の証明や移動に関する問題



文章で説明する問題



## 英 語 科



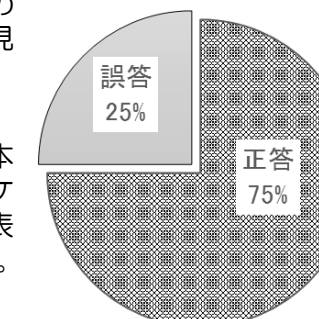
### ★優れている点

日常的な話題に関するリスニングやまとまりのある文から、説明文の大切な部分を理解するリーディングに関する設問はよくできています。また、コミュニケーションをとることへの関心は高く、書かれた内容に対して、話の内容や書き手の意見を捉える能力も身につけています。

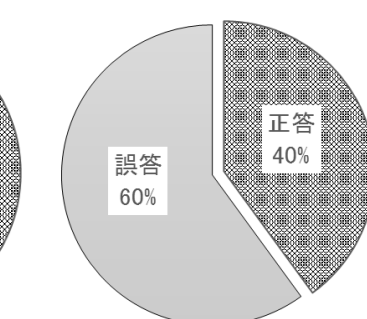
### ★課題となる点

まとまりのある英語を聞き、話の概要を理解することや基本的な文法を活用し応答することが課題です。今後もコミュニケーションへの関心を大切にし、自分で英語作文した内容を発表する機会を増やすなど表現力の向上を目指すことが課題です。

日常的な話題に関するリーディング問題



まとまりのある英語を聞き話の概要を理解する問題

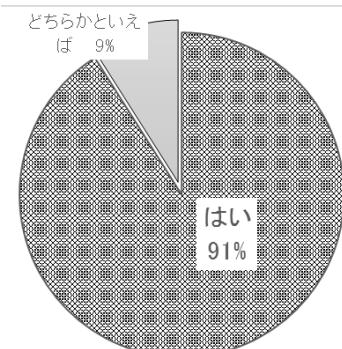


## 2 生活習慣や学習教科に関する調査結果（概要）

### ★概ね良好な項目

- 「学校の規則を守っている」「人の役に立つ人間になりたい」「自分にはよいところがある」「ものごとを最後までやり遂げ達成感を感じた。」「家の人と学校での出来事について話をする」「いじめはどんな理由があってもよくないと思う」という質問に「はい」と答えた生徒の割合は高く、本校生徒の規範意識や自己有用感の高さが伺えます。
- 本校の生徒は、「人の役に立つ人になりたい」「仲間を大切にしている意識」「学級生活をよりよくするため互いの意見を大切にしている」など仲間と協力してものごとに取り組むことに「うれしさ」や「達成感」が感じられる生活ができています。

学校の規則を守っているか



### ★やや不十分な項目

- 「自分で計画を立てて勉強している」「学校の授業時間以外に、1日当たりの読書の時間」「新聞を読む」という質問に関しては、「はい」と答えた生徒は比較的少なく、自主性や計画性がやや弱い傾向にあります。
- 家庭でのスマートフォンや携帯の使い方に対する意識は、年々高まっています。しかし家庭での時間の使い方においては、1時間以上テレビ等の視聴に使う生徒の割合が多いです。生徒が自ら家庭学習を計画的に取り組み充実したものにするためにも、家庭での時間の使い方が今後の課題であると思われます。

## 3 今後の指導について

### ◇学校の取り組みと今後の対策◇

- ◎小中一貫教育の利点を活かし、校区で「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業展開を進めます。生徒の自立と学力向上を目指し、ICT機器（コンピュータ、プロジェクター、実物投影機等）を活用し、意欲関心を高め、「魅力ある授業」「わかる授業」づくりをさらに進めます。また、昨年度1月に実施した到達度テストの課題である「読解力」「表現力」の向上にも取り組んでいます。
- ◎国語では、漢字や語句の「読み・書き」などの基礎的な学力の充実を継続して取り組んでいきます。特に「語彙力の弱さ」による読解力の弱さが課題としてあげられます。授業では、言葉の意味を捉え、描写から主人公の心情等を的確に読み取る力や情報を整理し内容を捉える力を育てる内容を増やしていきます。また、読書習慣の定着を図るなど様々な文章に触れ、言葉の意味を文脈の中で理解し自分の考えをまとめ発表する機会を工夫し、コミュニケーション能力の向上を図ります。
- ◎数学では、今後も少人数学習を活用し、個別学習の充実を図り、基礎基本の定着や答えだけでなく資料等の情報から理由などを説明できる教材開発や表現する機会をつくり、論理的な思考力や応用力、表現力が身につく授業を今後も目指します。
- ◎英語では、今後も日常的な話題を取り入れた内容や、コミュニケーションへの関心を高める授業を大切にしていきます。また、表現力の向上を図るため、自分で英語作文した内容を発表する機会を増やしていきます。

### ◇ご家庭へのおお願い◇

- ◎生徒会を中心に取り組んでいる「旭丘☆スマホ宣言」により携帯・スマホや通信機能付き音楽プレーヤー・ゲーム機の使い方について意識している生徒が増えてきました。小野市教育行政顧問である東北大学 川島隆太先生の研究で、子どもの長時間のスマホ利用で「2時間の学習効果が消える」ということが判明しています。子どもたちが犯罪被害や、いじめ問題等のトラブルに巻き込まれないために、また集中力不足、睡眠不足、学習効果の低下等の二次的な弊害につながらないように、家庭でも保護者の責任・管理のもと子どもの成長に応じたルールづくり、指導・管理の徹底をお願いします。



家庭で計画的に学習していますか

